

## 薬剤部 DI ニュース

## 経口血糖降下薬を飲み忘れた場合、どのように対応すればよいのでしょうか？

A. 経口血糖降下薬を飲み忘れた場合、次回は必ず1回分の量を服用します(2回分の量を一度に服用すると低血糖を起こす危険性があります)。飲み忘れた場合の基本的な対応例以下に紹介します。

## ■スルホニル尿素薬 (SU 薬)

主な作用:膵臓に作用し、インスリン分泌を促進する。

当院採用薬	一般名	服用の回数・時点	基本的な対応例
グリミクロン	グリクラジド	1日1回【朝】食前 or 食後 または 1日2回【朝・夕】 食前 or 食後	指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして、次の指示された時間に1回分服用
ダオニール	グリベンクラミド		
アマリール	グリメピリド		

対応(その他):食前に飲み忘れた場合、食後でも服用可  
食後1時間以内であれば服用可する文献もある。

## ■速効型インスリン分泌促進薬 (グリニド薬)

主な作用:SU薬と同様の作用を持つが、効果がより速やかに起こり、また短時間で消失する。

服用時の注意事項:食後服用では薬剤の吸収速度が遅くなり効果が減弱する。

当院採用薬	一般名	服用の回数・時点	基本的な対応例
ファステック	ナテグリニド	1日3回【朝・昼・夕】 食直前 [10分以内]	指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして、次の指示された時間に1回分服用

## ■ビグアナイド薬 (BG 薬)

主な作用:肝臓で糖をつくるのを抑えたり、筋肉での糖の利用を促したりする。

当院採用薬	一般名	服用の回数・時点	基本的な対応例
メット	メトホルミン 塩酸塩	1日3回【朝・昼・夕】 食後	指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして、次の指示された時間に1回分服用

対応(その他):食後1時間以内であれば服用可

### ■ $\alpha$ グルコシダーゼ阻害薬 ( $\alpha$ -GI)

主な作用: 腸管でのブドウ糖の吸収を遅らせ、食後の血糖値が急激に上昇するのを抑える。

服用時の注意事項: 食事と併せて服用しないと十分な効果が得られない。

当院採用薬	一般名	服用の回数・時点	基本的な対応例
グルコバイ OD	アカルボース	1日3回【朝・昼・夕】 食直前	食事の直前に飲み忘れたときは、食事に1回分を服用。 食後かなり時間がたっている場合は、1回とばして次の時間に1回分服用
ベイスン OD	ボグリボース		

### ■ インスリン抵抗性改善薬 (チアゾリジン薬)

主な作用: インスリンが働きにくい状態(インスリン抵抗性)の改善や、肝臓での糖の産生を抑える。

当院採用薬	一般名	服用の回数・時点	基本的な対応例
アクトス	ピオグリタゾン 塩酸塩	1日1回【朝】 食前 or 食後	昼までに飲み忘れに気づいた場合は、1回分をすぐに服用。ただし、昼過ぎに飲み忘れに気づいた場合は、1回とばして次の時間に1回分服用。

対応(その他): 低血糖のおそれがあるので、激しい運動した後や空腹時には服用しない。

### ■ DPP-4 阻害薬

主な作用: 血糖値を調節するホルモンであるインクレチンを分解する酵素を阻害し血糖値に応じてインスリン分泌を促進する。

当院採用薬	一般名	服用の回数・時点	基本的な対応例
ジャヌビア	シタグリプチン リン酸塩水和物	1日1回	気がついたときに、できるだけ早く飲み忘れた分(1日分)を服用。ただし、次の飲む時間が近い場合は、飲み忘れた分をとばして、次の日に1日分を服用。

(薬剤部 長ヶ原)